

第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について

基本方針 I 図書館の基本機能の充実		R3事業計画概要(参考)	▼ R4事業計画概要(案)	次年度事業計画概要(案)の考え方	
1.1.	図書館資料の収集等	<p>《方向性》 図書館資料の収集は、予算やスペースの制約を考慮し、社会情勢や利用者のニーズと資料的価値との均衡を図りながら、資料収集方針等の見直しも選択肢として中長期的・計画的かつ各館の特徴にも配慮した蔵書構築を行います。また、郷土資料や地方行政資料については、地域情報の拠点という役割を果たすべく、市の関係部署や地域の関係機関、その他団体と連携を強化して体系的な仕組みを構築し、独自性のある地域情報を積極的に収集・保存します。</p>	<p>(1)優先順位順の電子書籍購入 <b>主な手段</b>:各分類の蔵書構成、読者層などを想定し、電子書籍の購入をする。 <b>目標</b>:優先順位順の分析</p>	<p>(1)優先順位順の電子書籍購入【継続】 <b>主な手段</b>:各分類の蔵書構成、読者層などを想定し、電子書籍の購入をする。 <b>目標</b>:分析及び利用者モニタリング結果をもとに購入</p> <p>(2)学校支援のための図書の収集 <b>主な手段</b>:「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」を図書館に設置、希望校に配本する。 <b>目標</b>:30冊×18セット</p>	<p>(1)十分な検討結果が得られているとは言い難いため、利用者モニタリング結果をもとに購入を継続する。</p> <p>(2)令和4年度新規事業</p>
1.2.	図書館資料の組織化	<p>《方向性》 図書館資料の分類・目録作業は、『日本十進分類法(NDC)』や『日本目録規則(NCR)』等の最新情報に留意し、利用者の利便性向上に最も有効と考えられる基準を用いて書誌情報を最新に保つとともに、資料の扱いやすさや利用のしやすさに配慮した装備や排架を行います。また、図書館の資料保存機能に留意しつつ、除籍及び廃棄を適切に実施して書架表示にも配慮するなど利用者に分かりやすい書架の管理を行います。</p>	<p>(1)利用者が本を検索しやすい装備や排架 <b>主な手段</b>:利用者の利便性向上に最も有効と考えられる基準を用いる。 <b>目標</b>:セカンドライフコーナーに排架する本の装備、書架表示の変更</p>	<p>(1)NDC第10版の分類に応じた排架の見直し <b>主な手段</b>:分館の書架排架の見直しをする。 <b>目標</b>:蔵書整理期間・蔵書点検期間を利用して1分館を集中的に排架変更する。</p> <p>(2)別置特設コーナーのリニューアル <b>主な手段</b>:利用者に関覧・利用しやすくするため、モニタリング結果等を踏まえセカンドライフコーナーの再検討を行う。 <b>目標</b>:上半期までに結論</p>	<p>(1)現行のNDC10版の分類方法を継続することが最も合理的である。そのうえで、分館によっては書架の排架順に改善すべき点がある。毎年1分館ずつ排架の見直しを行う。</p> <p>(2)セカンドライフコーナーの資料数を増やしていくためにも専用書架への移動は必要。</p>
1.3.	貸出	<p>《方向性》 利用者の資料要求に対し迅速に提供できる体制を構築するとともに、相互貸借を含めて他の公立図書館等との連携強化を図ります。また、自動貸出機・自動返却機などICT設備の導入を含め、利用者にとって効率的で利便性の高い貸出・返却方法について調査・研究を進めるほか、非来館型サービスとして有望な電子書籍を導入します。</p>	<p>(1)電子図書館サービスの開始 <b>主な手段</b>:電子書籍を活用したサービスを導入し、非来館型サービスを充実を図る。また、他サービスの強化にもつなげる。 <b>目標</b>:年度内のサービス開始</p> <p>(2)書籍消毒器の設置 <b>主な手段</b>:本館及び分館(室)に書籍消毒器を設置し、コロナ禍における貸出の安全性を高める。 <b>目標</b>:9館全館への設置</p>	<p>(1)電子図書館サービスの拡充 <b>主な手段</b>:非来館型サービスを充実するため、電子図書館サービスを継続する。 <b>目標</b>:前年度比500点増</p> <p>(2)電子図書館サービスの周知 <b>主な手段</b>:利用を促進するため広く市民の目に触れる媒体で周知する。 <b>目標</b>:『広報あげお』等に年間3回掲載</p>	<p>(1)引き続き分析を行いながら、利用者モニタリング結果をもとに購入を継続する。</p> <p>(2)サービス開始当初は広く市民に向けて周知を行ったことで予約多数となった。導入から日数が経過し予約が落ち着いた段階で、再度広く市民に向けた周知が必要と考える。</p>
1.4.	閲覧	<p>《方向性》 館内での図書館資料の利用に必要な閲覧席その他設備について、レイアウトの変更なども含め、工夫しながら確保・充実に努めます。また、図書館資料を活用した生涯学習やグループワークなどに利用できるスペース等を確保します。</p>	<p>(1)新聞コーナーの刷新 <b>主な手段</b>:本館新聞コーナーの適切な配置を検討し、ソファ修繕も対応する。 <b>目標</b>:年度内の実施</p>	<p>(1)書架の照明改善 <b>主な手段</b>:本館2階書架部分の照明を、順次蛍光灯からLED照明に変え資料の閲覧環境を向上させていく。 <b>目標</b>:書架のLED化率前年度比10%向上</p> <p>(2)分館書架の資料のリフレッシュ <b>主な手段</b>:分館の棚の引き抜き・排架と表示等の改善 <b>目標</b>:各分館2回以上</p>	<p>(1)築40年を過ぎ、利用者に良好な環境で館内閲覧を行えない部分が生じてきているため継続して行う必要がある。</p> <p>(2)分館の定期的な本の引き抜き・排架作業を行い、利用者に見やすい書架にするとともに書架表示等も新しくしていく。</p>
1.5.	予約・リクエスト	<p>《方向性》 Web予約の推進を一層進めるなど、利用者にとって安心で利便性の高い予約・リクエストの手法を検討します。また、利用者の多様な資料要求に応えるため、他の図書館や関係機関等とのさらなる連携強化を図ります。</p>	<p>(1)リクエスト方法の方向性の決定 <b>主な手段</b>:他市を調査し、利用者に利便性が高く、正確な処理の行える、当面の予約・リクエスト方法を決定する。 <b>目標</b>:方向性の決定</p>	<p>(1)リクエスト制度の周知 <b>主な手段</b>:年度内に『広報あげお』『みんなの図書館』に周知記事を掲載する。 <b>目標</b>:年度内2回掲載</p> <p>(2)予約・リクエストの利便性の向上 <b>主な手段</b>:本のセット予約等、システムで対応できる機能について検討する。 <b>目標</b>:10月までに、検討結果をまとめる。</p>	<p>(1)図書館を頻繁に利用する人だけでなく、今まで予約・リクエストをしたことがない人の利用を促進するため。</p> <p>(2)本をセット予約(※複数の資料をまとめて予約し、その中で受け取る順番を指定して、受け取ることができる予約)することで、複数刊にわたる本も利用者の希望どおり準備することができる。利便性を向上することで、予約・リクエストを促進させることができるが、デメリットもあるため検討をする。</p>

# 第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について

上尾市教育委員会教育総務部図書館

			R3事業計画概要(参考)	▼ R4事業計画概要(案)	次年度事業計画概要(案)の考え方
1.6.	複写	<p>《方向性》 『著作権法』に則り、適切な複写サービスの運用が可能となるよう職員の知識・技能を高めるとともに、講座の開催や館内掲示など利用案内を強化するなど周知を図ります。また、複写機を含めた利用環境について、利用者の使い勝手や満足度の把握を行い、利便性の向上策について検討を進めます。</p>	<p>(1) 著作権研修会への参加 <b>主な手段:</b>『著作権法』に関する研修会に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 <b>目標:</b> 県主催の『著作権関係研修会』に参加</p>	<p>(1) 著作権研修会への参加【継続】 <b>主な手段:</b> 著作権法施行令で定める施設に勤務する、著作権法施行規則で定める「司書に相当する職員」を対象とした文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 <b>目標:</b> 「図書館等職員著作権実務講習会」に1名以上参加</p> <p>(2) 複写物送信サービスの検討 <b>主な手段:</b> 郵送で複写物を提供するサービスや、メールで提供するサービスについて検討する。 <b>目標:</b> 年度内に検討結果をまとめる。</p>	<p>(1) 文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」で、図書館等の実務に必要な著作権に関する知識を習得するとともに、講習会での情報提供を通し、常に新しい動向を確認するために有効であるため、継続。</p> <p>(2) 国・県の動向に沿ってガイドライン等を整えていく必要があるため。</p>
1.7.	行政関係	<p>《方向性》 市の行政資料や情報は、市民生活に密接に影響するため、市の関係部署との連携体制を構築するなど体系的かつ積極的に収集、提供していきます。また、市の情報はインターネット環境で閲覧可能なものも多いため、情報検索の環境整備やデジタルデバйд解消のための対策も併せて推進します。</p>	<p>(1) 行政関係パンフレットの収集 <b>主な手段:</b> 県、市、近隣市町発行・発刊の冊子型の情報誌を収集する。 <b>目標:</b> 年度内のデータベース化</p>	<p>(1) 行政関係資料の収集 <b>主な手段:</b> 市発行の行政資料で、市民の生活に役立つ冊子体の資料を収集する。 <b>目標:</b> 10月までに排架</p>	<p>(1) 令和3年度に必要性を検討した結果、限られた書架スペースのなかでは、県内の資料よりも市内の情報を収集することが市民のために有益であると考え、対象を市の資料のみとし、充実を図る。</p>
<b>基本方針Ⅱ 多様なニーズに応えるサービスの提供</b>					
2.1.	レファレンスサービス	<p>《方向性》 利用案内や情報提供など、基本的なレファレンスサービスの提供を着実に行うとともに、サービス自体の周知を徹底することにより活用促進を図ります。また、多様化・複雑化する利用者の情報ニーズに応えるため、レファレンスサービスを今後の図書館の中心的サービスと位置づけ、職員等の技能向上を含めた対応体制を構築します。</p>	<p>(1) レファレンスデスクの設置 <b>主な手段:</b> 外部のレファレンス研修に積極的に参加する。レファレンスデスクを設置する。 <b>目標:</b> 年度内に設置</p>	<p>(1) レファレンスデスクの周知・拡充 <b>主な手段:</b> レファレンスデスクの運営を継続し、『広報あげお』や上尾市図書館ホームページで周知を行うことで利用促進を図る。 <b>目標:</b> 四半期に1回周知</p> <p>(2) レファレンスブックの収集 <b>主な手段:</b> レファレンス担当者での選書会議を行い、必要な資料について購入する。 <b>目標:</b> 前年度比3%増</p>	<p>(1) 現状を踏まえ、継続と周知が不可欠であると判断。</p> <p>(2) 昨年度は、レファレンスデスクを設置することができた。また、図書館ホームページに「調べる・相談する(レファレンス)」のバナーを設け、調べものに役立つリンク集をつくった。来年度は、更なるレファレンス強化として、まだ購入していないレファレンスブック(辞書、事典、便覧・図鑑、年表、地図帳など)を収集し、市民からの多様なレファレンスに対応する。</p>
2.2.	レフェラルサービス	<p>《方向性》 利用者の地域性の高い、あるいは専門性のある情報ニーズに対応できるよう、専門的な機関・団体又は個人の紹介を行うレフェラルサービスを推進します。できるだけ多くのサービスが提供できる体制を構築するために、市の公的専門機関、専門家等との連携強化を図るとともに、SNS等の活用についても検討を進めます。</p>	<p>(1) 専門図書館の把握 <b>主な手段:</b> 近隣の類縁機関の収集範囲や動向を把握する。 <b>目標:</b> データベース化</p>	<p>(1) 専門機関へと調査を繋げるフローチャートの作成 <b>主な手段:</b> 目的ごとにどの専門機関を利用すればよいか分かるフローチャートの作成及び利用者への配布、上尾市図書館ホームページへの掲載を行う。 <b>目標:</b> 年度内の実施</p>	<p>(1) 専門的な機関等と利用者をつなげ図書館では解決できない課題を解決につなげるため、作成する。</p>
2.3.	情報検索サービス等	<p>《方向性》 多様化する利用者の情報ニーズに対応できるよう、テーマ別の資料案内の実施や資料検索システム、有用なオンラインデータベースの導入、カレントアウェアネスサービス等利用者支援サービスの有効な活用方法について検討を進めます。また、公衆無線LANの導入など多くの利用者が活用できるネットワーク環境整備について調査・研究を進めるほか、デジタルデバйдの解消策についても講じていきます。</p>	<p>(1) テーマ別の資料案内の実施 <b>主な手段:</b> 調べものに役立つプラットフォームを上尾市図書館ホームページ上に作成する。 <b>目標:</b> 年度内に作成</p>	<p>(1) テーマ別の資料案内の充実 <b>主な手段:</b> 上尾市図書館ホームページ上の「調べものに役立つプラットフォーム」のコンテンツ、内容を適宜更新する。 <b>目標:</b> 年度内に実施</p> <p>(2) オンラインデータベースの機能強化 <b>主な手段:</b> 市民の調査研究の一助とするため、朝日新聞クロスサーチ(旧名「開蔵Ⅱ」)に新たに全国の地域面や、明治・大正時代の新聞データ等を追加する。 <b>目標:</b> 年度当初に実施</p>	<p>(1) より充実したプラットフォームにするため、更新継続する。</p> <p>(2) 令和4年度新規事業</p>

### 第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について

			R3事業計画概要(参考)	▼ R4事業計画概要(案)	次年度事業計画概要(案)の考え方
2.4.	ビジネス支援	<p>《方向性》 特に市内のビジネス活動や研究活動の従事者、就業・起業を目指す人々の課題解決に向けた資料や情報の収集、提供を行うとともに、オンラインデータベースの紹介やリンク集の充実を図るなど、利用者が情報検索を行いやすい環境を整備します。</p>	<p>(1) オンラインデータベースの紹介やリンク集の充実 <b>主な手段:</b> 他館の事例等も参考にしながら、ビジネスに有益なデータベース・リンクを収集する。 <b>目標:</b> ビジネスに役立つデータベース・リンク等を上尾市図書館ホームページに掲載する。</p>	<p>(1) ビジネス支援に関する資料の収集 <b>主な手段:</b> 3・6分類や新書など、ビジネス支援に役立つ資料の収集を行う。 <b>目標:</b> 駅前分館でビジネス関連本を前年度比3%多く購入  (2) 電子図書館におけるビジネス支援本の購入 <b>主な手段:</b> ビジネス支援に役立つ資料を購入する。 <b>目標:</b> 年間20タイトル以上</p>	<p>(1) 閉館時間の遅い駅前分館にビジネス支援本を多く購入することで、日中働く人への利便性を図る。  (2) 図書館への来館が難しい人に向けて、非来館サービスである電子図書館での資料の提供を行うため。</p>
2.5.	子育て・教育	<p>《方向性》 子育て・教育に関して市民が抱える課題の解決に向けた資料・情報の収集、提供を行うとともに、書架やフロアのレイアウトの工夫や情報端末の利用案内(使用方法等に関する説明・支援)などを積極的に行い、利用者が相談しやすい環境整備を行います。</p>	<p>(1) 子育て・教育に関する情報収集 <b>主な手段:</b> 子育て・教育に関する資料、情報を収集する。 <b>目標:</b> 子育て支援施設や公民館などのチラシ、保健センターの資料を集め、閲覧用ファイルを作成</p>	<p>(1) 子育て・教育に関する関係部署との連携 <b>主な手段:</b> 子育て支援センターと相互の職員派遣を行い、連携強化につとめる。 <b>目標:</b> 年度内1回、子育て支援センターでのおはなし会を開催。子育て支援センター職員を講師に招いた講座等の図書館での開催。  (2) (仮) 子ども・子育て複合施設との連携体制づくり <b>主な手段:</b> (仮) 子ども・子育て複合施設への絵本等を提供するとともに、相互に情報発信を行う。 <b>目標:</b> あっぴいぶつくる本を利用した団体貸出制度の検討と実施準備</p>	<p>(1) 子どもの読書活動支援センターが子育て支援センターでおはなし会を行うことで相互の連携強化につとめ、情報交換や本の紹介を行う。  (2) 令和5年4月開設の子ども・子育て複合施設へ団体貸し出しを行うことで施設の読書環境整備や連携体制づくりを目指す。</p>
2.6.	健康・医療、福祉	<p>《方向性》 健康・医療情報に関しては、専門性が高く回答制限事項となるケースも多いため、参考資料や情報の収集を図るとともに、レフェラルサービスへの展開など情報の仲介機能を高めます。また、福祉関係は、市の関係部署や地域の公共的団体との連携強化により情報の仲介機能を高めます。</p>	<p>(1) 市の関係部署との連携強化 <b>主な手段:</b> 市の関係部署が発行する健康・医療、福祉に関するチラシ、リーフレット等を収集する。  <b>目標:</b> 年度内に排架・閲覧の仕方の方向性を決定</p>	<p>(1) 市の関係部署との連携強化【継続】 <b>主な手段:</b> 市の関係部署が発行する健康・医療、福祉に関するチラシ・リーフレット等を排架する。 <b>目標:</b> 第1四半期までに実施  (2) 健康・医療、福祉に関する講座の開催 <b>主な手段:</b> 健康・医療、福祉に関する講座を関係機関と連携して開催する。 <b>目標:</b> 年度内に実施</p>	<p>(1) 十分な成果が得られているとは言い難いため、次年度も継続する。  (2) 図書館外の関係機関と連携し、情報の仲介機能を高めるため行う。併せて、関係する図書資料を展示し、図書資料の利用促進も図る。</p>
2.7.	法律・司法手続き	<p>《方向性》 法律・司法手続き情報に関しては、専門性が高く回答制限事項となるケースも多いため、参考資料や情報の収集を図るとともに、レフェラルサービスへの展開など情報の仲介機能を高めます。また、参考図書や資料について、資料収集方針などと調整を図りながら充実にも努めます。</p>	<p>(1) 法律・司法手続きに関する情報の収集 <b>主な手段:</b> データベースについて調査、研究をする。 <b>目標:</b> 無料のデータベースのリンクを上尾市図書館ホームページに掲載</p>	<p>(1) 法律に関する資料の情報の整理 <b>主な手段:</b> 本館・各分館に現行の法律知識に役立つ基本的な図書を排架する。 <b>目標:</b> 年度内に実施  (2) 司法手続き等にかかわる関係各課との連携強化 <b>主な手段:</b> スムーズなレフェラルサービスを行うために、市関係各課との調整会議を行う。 <b>目標:</b> 年度内に実施</p>	<p>(1) 令和3年度に無料のデータベースのリンク集をホームページに掲載した。ほかの分野のリンク集も含め市民に利用してもらえるよう周知していく必要がある。その一方で、特に分館においては現行の法律に対応する資料が整備されていないため、市民生活に役立つ法律関係資料を提供することを目的に、各館に適切な資料を整備し、さらに今後のために所蔵状況をリスト化して継続的な整備につとめる。  (2) スムーズな連携の第一歩として、レフェラルサービスの重要性を理解してもらい、協力を仰ぐ必要があるため。</p>
2.8.	高齢者サービス	<p>《方向性》 高齢者が使いやすいよう、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備と図書館資料の提供を行います。また、近年では活動的な高齢者「アクティブシニア」が増加していることから、生涯学習意欲を支援するイベントの開催や資料提供、活動環境を提供します。</p>	<p>(1) セカンドライフコーナーの充実 <b>主な手段:</b> セカンドライフコーナーにアクティブシニア向けの図書資料を積極的に排架する。また情報提供のためのチラシ等を設置する。 <b>目標:</b> 年度内に実施</p>	<p>(1) アクティブシニアの生涯学習意欲を支援する講座の開催 <b>主な手段:</b> 本に関連し、かつシニアの生涯学習を支援するためのイベント・講座を定期的に開催する。 <b>目標:</b> 年度内2事業開催  (2) シニア向けの生涯学習情報の提供 <b>主な手段:</b> 放送大学、公民館講座、生涯学習サークル情報など高齢者の学習意欲の向上に有益な情報の提供を行う。 <b>目標:</b> チラシの提供や上尾市図書館ホームページへの掲載</p>	<p>(1) 図書館が、人生100年時代に対応する施設となるために期待される事業である。  (2) アクティブシニアの学習意欲を支援するため、より幅広い学習ニーズにこたえられるような情報を収集し、セカンドライフコーナーに設置しておく。セカンドライフコーナーに設置することで、本を閲覧する際により効果的にPRできる。あわせて、図書館ホームページにおいても情報提供を行う。また、セカンドライフの名称についても検討を行う。</p>

# 第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について

上尾市教育委員会教育総務部図書館

			R3事業計画概要(参考)	▼ R4事業計画概要(案)	次年度事業計画概要(案)の考え方
2.9.	障害者サービス	<p>《方向性》 図書館及び図書館資料の利用が困難な人に対して、これまで実施してきた点字資料の設置や大活字本の収集、録音資料等の整備・提供、対面朗読、宅配サービスの実施のほか、図書館の利用を促進するための介助や音声機能のある電子書籍を含む資料提供など多角的な支援を実施します。また、市の関係部署との連携強化を進め、個々のニーズに適したサービス手法についても検討していきます。</p>	<p>(1) 音訳資料のリクエストの迅速な対応 <b>主な手段:</b> 音訳資料で対応が難しい分野について、電子書籍での資料充実を進める。 <b>目標:</b> 貸出実績の増</p>	<p>(1) 宅配サービス利用者への情報提供 <b>主な手段:</b> 宅配サービス利用者へ、新着図書案内や電子図書館など新サービスの案内を配布する。 <b>目標:</b> 図書館で発行する「みんなの図書館」、各種サービス案内を、発行後最も近い宅配時に配布</p> <p>(2) 電子書籍の活用の検討【継続】 <b>主な手段:</b> 障害者の利用に特化した電子書籍サービスについて、有用性を検討する。 <b>目標:</b> 年度内に検討</p>	<p>(1) 来館して資料を選ぶことができず、新サービスの情報が得にくい状況にある宅配サービス利用者の利用促進を目的とする。なお、R3年度の目標については、リクエストにサピエ図書館から借用する音訳資料で迅速に対応できていることや、障害者向け電子書籍の出版数が限られ、その実態についてまだ精査が必要。</p> <p>(2) 障害者の利用に特化した電子書籍サービスの導入にはコストがかかるため、その有用性について検討し、今後の方針をまとめる。</p>
2.10.	多文化サービス	<p>《方向性》 外国語利用案内の作成・頒布や外国語資料や情報の整備など、外国人市民の利用者が気軽に利用できる環境の整備を進めるため、市の関係部署やNPOなどとの連携体制を構築し、ニーズの把握に努めます。</p>	<p>(1) 多文化コーナーの設置 <b>主な手段:</b> 多文化コーナー(仮称)に排架するための本を選定する。 <b>目標:</b> 年度内に本館に多文化コーナー(仮称)を設置</p> <p>(2) 外国語利用案内の整備 <b>主な手段:</b> 現行の外国語利用案内について定期的に内容の確認を行い、必要に応じて修正する。 <b>目標:</b> 継続的に実施</p>	<p>(1) 外国籍市民等のニーズの把握 <b>主な手段:</b> 関係部署等と連携し、市内在住外国籍市民のニーズの把握について検討する。 <b>目標:</b> 第2四半期までに実施</p> <p>(2) 「やさしい日本語」の活用 <b>主な手段:</b> 「やさしい日本語」版の利用案内を作成・設置する。 <b>目標:</b> 第2四半期までに実施</p> <p>(3) 外国語利用案内の整備【継続】 <b>主な手段:</b> 現行の外国語利用案内について定期的に内容の確認を行い、必要に応じて修正する。 <b>目標:</b> 継続的な実施</p>	<p>(1) 市民協働推進課と連携し、外国籍市民の使用言語の割合を把握し、適正な利用案内作成を行う。</p> <p>(2) 言語を問わず利用可能であること、内容の精査・情報の更新などが容易に行えることなどのメリットがある。 ※「やさしい日本語」…漢字交じりの日本語より簡単で、日本語能力が十分でない外国人に分かりやすいように配慮した日本語(埼玉県県民生活部国際課「やさしい日本語(にほんご)のつくりかた」より)</p> <p>(3) 令和3年度に大幅な修正・加筆を行ったため、令和4年度は必要に応じて修正を行う。</p>
<b>基本方針Ⅲ 市民の学びと活動の支援</b>					
3.1.	乳幼児・保護者サービス	<p>《方向性》 ブックスタート事業の推進やおはなし会等イベントの開催など乳幼児及びその保護者が本に触れ、親子の触れ合いや知識、感受性を育むきっかけづくりを支援します。また、書架やフロアのレイアウトの工夫など乳幼児及びその保護者が安心して図書館を利用できる環境づくりを行います。</p>	<p>(1) ブックスタート事業の推進 <b>主な手段:</b> 4か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、PRする。 <b>目標:</b> 受診者全員に絵本を配布</p> <p>(2) おはなし会等イベントの開催 <b>主な手段:</b> おはなしボランティアと連携を取り、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を再開する。 <b>目標:</b> 本館で段階的に再開</p>	<p>(1) ブックスタート事業の推進【継続】 <b>主な手段:</b> 4か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、PRする。 <b>目標:</b> 受診者全員に絵本を配布</p> <p>(2) おはなし会等イベントの開催【継続】 <b>主な手段:</b> おはなしボランティアと連携を取り、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を定期開催する。 <b>目標:</b> 新しい生活様式に対応したおはなし会等を、本館のほか、分館でも再開</p>	<p>(1) 配布する絵本を1冊から2冊にし、オリジナルのトートバッグに入れて配布する。</p> <p>(2) コロナ禍でもできるように工夫して実施する。</p>
3.2.	児童サービス	<p>《方向性》 子供の発達段階に合わせた図書・資料を整備するとともに、SNSやICT技術等の活用も検討します。また、児童の読書習慣や本への興味を高める読み聞かせやおはなし会その他「読書パスポート」を活用した事業などを積極的に展開します。</p>	<p>(1) 読書パスポートを活用した事業 <b>主な手段:</b> 読書パスポートの説明動画を作成する。読書パスポートコンクールを開催する。 <b>目標:</b> 説明動画の作成。市内小学校への配布。あげtubeで配信。市内全小学校の読書パスポートコンクールへの参加</p> <p>(2) おはなし会等児童向けイベントの開催 <b>主な手段:</b> おはなし会等の児童向けイベントの開催 <b>目標:</b> 新しい生活様式に対応したおはなし会や夏休み事業、クリスマス会などを開催</p>	<p>(1) 読書パスポートを活用した事業【継続】 <b>主な手段:</b> 小学校で読書パスポートの説明を行う。読書パスポートコンクールを開催する。 <b>目標:</b> 市内全小学校が読書パスポートコンクールへ参加</p> <p>(2) おはなし会等児童向けイベントの定期開催【継続】 <b>主な手段:</b> おはなし会等の児童向けイベントを開催する。 <b>目標:</b> 新しい生活様式に対応したイベント・事業 年10回</p>	<p>(1) あげtubeで配信している読書パスポートの説明動画を活用しながら読書パスポートの説明を行う。</p> <p>(2) コロナ禍の中、安全なイベント方法を検討し、子供の読書環境を整備する。</p>
3.3.	青少年サービス	<p>《方向性》 読書離れと言われる青少年世代が本に興味を持ち、知的活動をさらに飛躍させるためのSNSや電子書籍などICT技術の活用、ブックトーク、ビブリオバトルなどのイベント開催といった図書館利用促進に向けた仕組みづくりを進めます。また、ラーニングコモンズのようなグループワーク向けのスペースの設置など、将来の社会の担い手を支援する学び・交流の場の提供を検討します。</p>	<p>(1) 青少年向け電子書籍の収集 <b>主な手段:</b> 青少年をターゲットにした電子書籍を収集する。 <b>目標:</b> 電子書籍全体の1割</p>	<p>(1) 青少年向け電子書籍の収集【継続】 <b>主な手段:</b> 引き続き、青少年をターゲットにした電子書籍を収集する。 <b>目標:</b> 電子書籍全体の1割</p> <p>(2) 青少年向け図書リスト・啓発資料を配布 <b>主な手段:</b> 市内中学校を通じて「ネクストジェネレーション」を全中学生に配布する。 <b>目標:</b> 年3回</p> <p>(3) 市内高校との連携 <b>主な手段:</b> 高校との連携のため、おはなし会などの合同イベントを行う。 <b>目標:</b> 年1回</p>	<p>(1) 他の分類との蔵書構成を踏まえ、電子書籍全体の1割を達成できるよう青少年向け資料を購入する。</p> <p>(2) 読書離れを食い止めるため、「ネクストジェネレーション」をカラー印刷して定期的に全中学生に配布する。</p> <p>(3) 継続事業として通例化する。</p>

## 第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について

上尾市教育委員会教育総務部図書館

			R3事業計画概要(参考)	▼ R4事業計画概要(案)	次年度事業計画概要(案)の考え方
3.4.	子供の読書活動支援	<方向性> 子どもの読書活動支援センターの積極的な事業展開により、『上尾市子どもの読書活動推進計画』(あげお子ども読書プラン)に基づき、家庭・地域・学校と図書館が一体となって、子供の読書活動の推進を図ります。	(1)家庭・地域への支援 <b>主な手段:</b> 保護者が絵本を選ぶきっかけにするために、絵本の紹介を行う。 <b>目標:</b> 絵本を紹介するチラシの定期的な作成・配布、ツイッターでの公開 (2)学校への支援 <b>主な手段:</b> 「学校の授業をきっかけに、読書が広がる本のセット」を定期的に学校に配送する。 <b>目標:</b> モニター校の設置、セットの配送	(1)家庭への支援 <b>主な手段:</b> 保護者が子育てに絵本を取り入れるために、講座の開催や新しい絵本のリストを配布する。 <b>目標:</b> 保護者向け講座 1回、絵本リスト年12回配布 (2)地域への支援 <b>主な手段:</b> 読み聞かせボランティアのためのステップアップ講座の開催、読み聞かせのための本のリストの配布など、情報提供を行う。 <b>目標:</b> 講座の開催 1回 絵本リスト年2回配布 (3)学校への支援 <b>主な手段:</b> 「学校の授業をきっかけに、読書が広がる本のセット」を定期的に学校へ配送する。 <b>目標:</b> 本のセット選書・購入、学校への配送	(1)感染状況を考慮しながら、保護者が向けの講座を開催する。また、新型コロナウイルス感染防止で来館できない子供たちのために、保護者が家庭で読み聞かせができるように、新しい絵本のリストの配布や家族でも楽しめる本の情報を発信する。 (2)昨年度、読み聞かせボランティアのステップアップ講座が開催できなかったため、感染状況を考慮しながら、講座の開催する。また、ボランティア読み聞かせのための本のリストの提供や情報提供により、ボランティア活動継続の支援をする。 (3)令和4年度新規事業
3.5.	若者の自立支援	<方向性> 若者世代の就学・就業やボランティアなど、その他地域交流活動の情報・資料を収集、提供するとともに、図書館で気軽に学習できる機会・環境を整備します。また、この世代の情報収集手段がインターネット等によることが多いことから、有用なオンラインデータベースの紹介やリンク集の充実を進めます。	(1)若者世代に対する情報提供 <b>主な手段:</b> 関係各課と調整し、情報を提供する。 <b>目標:</b> 関係チラシ等を集め、情報提供をする。	(1)進路や社会生活に関する資料の収集 <b>主な手段:</b> 青少年向けの、進路や社会生活に関する資料を収集する。 <b>目標:</b> 年間で15点の資料の収集	(1)職業に関する資料(366.2)の収集状況は、R2年度3点、H31年度6点。 ※本館・大石・瓦葺分館所蔵の青少年資料 なお、R3年度の目標について、チラシの収集を試みたが、青少年に活用されると思われるチラシの種類に限られるため、R4年度については資料の充実を図ることとした(これまで1階のパンフレット架で配布していた読書推進運動協議会発行の「若い人に贈る読書のすすめ」を青少年コーナーにも配置することにした)。
3.6.	学習活動の支援	<方向性> 図書館の利用を促進し、図書館資料、地域情報その他市民の知的活動の支援を目的とした講座や相談会、展示会等のイベントを開催します。また、公民館など市の関係部署とも連携しながら生涯学習に関する情報提供に努めます。	(1)知的活動の支援 <b>主な手段:</b> 知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また公民館等社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 <b>目標:</b> 継続的に実施	(1)知的活動の支援【継続】 <b>主な手段:</b> 知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また県内博物館や美術館、市内公民館等、社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 <b>目標:</b> 社会教育施設2施設以上と連携したイベント実施	(1)社会教育施設等と連携(MLA連携)することで図書館単体では提供できなかった質の高い学びを提供できる。また、紙ベースの情報を実体験と結びつけることができるため、継続する。
3.7.	情報活用能力向上支援	<方向性> 情報社会における課題解決や情報リテラシー獲得・向上の支援として、ICT等の活用や理解に役立つ情報の提供、利用案内、講座を開催します。特にデジタルデバイドの解消については、職員の知識・技能の向上と併せて積極的に取り組みます。	(1)ICT等の活用や理解に役立つ講座の実施 <b>主な手段:</b> 企業等と連携し、ICT等の活用や理解に役立つ講座を開催する。 <b>目標:</b> 年度内に開催	(1)ICT等の活用や理解に役立つ講座の実施【継続】 <b>主な手段:</b> 企業等と連携し、ICT等との活用や理解に役立つ講座を引き続き開催する。 <b>目標:</b> オンラインデータベース(朝日新聞クロスサーチ(旧「聞蔵II」)、日経テレコン21、ナクソス・ミュージック・ライブラリー)活用講座の実施	(1)新規機能追加予定の朝日新聞クロスサーチ(旧聞蔵II)の周知及び使用方法の講座開催も加え、強化して継続。
3.8.	ボランティア活動支援	<方向性> ボランティア活動の生涯学習的側面を踏まえて、図書館サービスの充実に欠かすことのできない読み聞かせや、音訳その他の活動を積極的に支援するとともに、図書館サービスに係わるボランティア活動の機会や場所の提供など、協働して事業を実施するパートナーとして友好的協力体制の構築に努めます。また、研修会を開催するなど後継者となり得る新たな意欲あるボランティアへの参加者を育成していきます。	(1)新しい生活様式に対応したボランティア活動支援 <b>主な手段:</b> あげTUBEを利用したボランティアの活躍の場を設ける。 <b>目標:</b> 年度内に実施 (2)既存のボランティアへの活動の場の提供 <b>主な手段:</b> コロナ禍で感染症拡大防止に留意した図書館まつりを開催する。 <b>目標:</b> 10月下旬～11月上旬の実施	(1)新しい生活様式に対応したボランティア活動支援【継続】 <b>主な手段:</b> あげTUBEを利用したボランティアの活躍の場を設ける。 <b>目標:</b> 年度内に実施 (2)既存のボランティアへの活動の場の提供【継続】 <b>主な手段:</b> コロナ禍で感染症拡大防止に留意した図書館まつりを開催する。 <b>目標:</b> 10月下旬～11月上旬の実施	(1)集合型事業の開催が難しい状況下でもボランティアの意欲を低下させないために積極的にあげTUBEを活用する事業を開催する (2)新型コロナウイルス感染拡大が収束しない中、ボランティアの意欲向上のために、ボランティア活躍の場を提供するため

# 第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について

基本方針Ⅳ 時代に合わせた環境整備			R3事業計画概要(参考)	▼ R4事業計画概要(案)	次年度事業計画概要(案)の考え方
4.1.	学習活動環境の整備	<p>《方向性》 学習活動の支援につながる学習席等の増設のほか、家庭でも職場・学校でもない第3の居場所「サードプレイス」としての役割を担えるよう、レイアウト変更など交流機能を含めた空間構築と環境整備を進めます。また、学びと活動の循環を生み出す地域住民の交流拠点として、市の関係部署と連携して事業を積極的に進めます。</p>	<p>(1)レイアウト変更等による学習環境の整備 <b>主な手段:</b>本館のレイアウトの一部変更により、スペースを有効活用して、特に若年層向けの学習席を増設する。 <b>目標:</b>5席程度の増</p> <p>(2)学習環境の提供 <b>主な手段:</b>定期テスト前などの17時から19時、学習席を中・高校生専用開放する。 <b>目標:</b>2学期からの実施</p>	<p>(1)レイアウト変更等による学習環境の整備【継続】 <b>主な手段:</b>新規で机及び椅子を設置し、学習席の増設を行う。 <b>目標:</b>計8席程度</p> <p>(2)図書館内でグループワーク等のできる環境整備 <b>主な手段:</b>学習席の一部をグループワーク等の交流の場として開放する。 <b>目標:</b>年度内に実施</p>	<p>(1)学習席に新規の机と椅子を設置し、より多くの利用者が学習席を利用できる環境を作る。</p> <p>(2)学習席の一部を利用者がグループワークや会議に使用できるような環境整備を行う。</p>
4.2.	運営	<p>《方向性》 市民が安心して利用できるよう図書館資料と情報の安定した管理体制を維持するとともに、ICT設備の導入などによる効率的な図書館運営を進めます。また、良質な図書館サービスを提供するための効率的かつ効果的な運営手法について調査・研究を進め、業務委託内容の見直し等も含め、今後のさらなる改善につなげます。</p>	<p>(1)図書館業務のさらなる委託化 <b>主な手段:</b>窓口業務を長期継続契約とし、改善に繋がるよう仕様を変更することで民間活力導入効果を促進する。 <b>目標:</b>仕様書改訂箇所10項目以上</p>	<p>(1)委託業者の更なる活用 <b>主な手段:</b>窓口業務の委託業者による民間ノウハウを生かした新たな事業の実現を図る。 <b>目標:</b>新規イベントの実現1事業</p> <p>(2)ICT設備の導入に向けた計画策定 <b>主な手段:</b>ICT設備未導入の施設において、図書館更新計画にあわせ、導入に向けた計画案を策定する。 <b>目標:</b>計画案3案策定</p>	<p>(1)上尾市行政改革プランに掲げられていることを踏まえて、委託化の拡大を目指す。</p> <p>(2)不明本の管理に貢献(or新しい生活様式に対応するため非接触型のスタイルの普及を目指す)</p>
4.3.	職員体制	<p>《方向性》 図書館職員については、図書館運営が安定して継続的に進めるよう、現行制度の中で、専門知識を持った司書有資格者や行政全般にわたり知識と経験のある職員の配属を可能な限り進めるとともに、各職員の技能向上を積極的に推進します。</p>	<p>(1)司書及び専門技能の有資格者配置推進 <b>主な手段:</b>配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持する。 <b>目標:</b>司書等技能取得者比率50%以上(会計年度任用職員含む)</p> <p>(2)図書館専門技能講習等への派遣、受講 <b>主な手段:</b>著作権やレファレンス、その他サービスに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣する。 <b>目標:</b>10名以上</p>	<p>(1)司書及び専門技能の有資格者配置推進【継続】 <b>主な手段:</b>配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持する。 <b>目標:</b>司書等技能取得者比率50%以上(会計年度任用職員含む)</p> <p>(2)図書館専門技能講習等への派遣、受講【継続】 <b>主な手段:</b>著作権やレファレンス、その他サービスに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣する。受講した研修について館内職員研修へ反映させ、図書館を取り巻く状況の変化に対応できるよう資質向上を図る。 <b>目標:</b>派遣者10名以上</p>	<p>(1)図書館勤務において司書資格者の増員は必須である。</p> <p>(2)司書資格を持たない職員においても、図書館業務において必要な知識を身に付けることが必要。</p>
4.4.	施設・設備	<p>《方向性》 現在の図書館網を可能な限り維持し、各地域の住民にとって利便性の高い全域サービスの展開に努めます。また、老朽化が進む施設については、利用者が安心・安全に利用できる水準の確保を第一に考えて必要な措置を講じます。その上で、施設の改修や図書館網の整理等については、市の公共建築物の計画の中で公共施設マネジメントとの整合性を図りながら取り組んでいきます。</p>	<p>(1)上尾市公共建築物管理実施計画の実行 <b>主な手段:</b>施設の老朽化対策について、実施計画に沿って、モデルケースの選定とケース別シナリオの作成を行う。 <b>目標:</b>年度内に完了</p> <p>(2)施設の安心安全及び利便性確保 <b>主な手段:</b>維持保全等工事・修繕の適切な履行 <b>目標:</b>工事又は修繕5箇所以上</p>	<p>(1)上尾市公共建築物管理実施計画の実行【継続】 <b>主な手段:</b>選定した複数のモデルケースについて庁内調整を実施し、市民説明用資料を作成する。 <b>目標:</b>年度内に完了</p> <p>(2)修繕の履行及びLED照明器具設置による維持管理の実施 <b>主な手段:</b>各分館の照明の照度を測定し、照度の低い箇所よりLED化を図る。 <b>目標:</b>2施設/年間以上の照明の照度測定、照明器具5基/年以上のLED化</p>	<p>(1)図書館本館は築40年を超えており、上尾市公共建築物管理実施計画においても更新計画の策定が掲げられているため。</p> <p>(2)建物の老朽化に伴い、設備の機器不良も散見されることから、修繕等によるメンテナンスが必要なため。</p>
4.5.	安全管理	<p>《方向性》 事故、災害その他の非常事態による被害を防止するため、危機管理の手引書を作成し、定期的な訓練を実施します。また、防災上及び衛生上の設備点検については、法令その他の規定に基づき点検を実施し、安全確保に努めます。</p>	<p>(1)避難訓練の実施及び手引書の作成 <b>主な手段:</b>消防計画等を見直し、避難訓練の実施する。その後手引書等を整備する。 <b>目標:</b>本館、瓦葺分館</p> <p>(2)サーマルカメラの設置 <b>主な手段:</b>新型コロナウイルス感染症まん延防止策として、図書館入口にサーマルカメラを設置する。 <b>目標:</b>本館及び5分館に設置</p>	<p>(1)法定点検等の履行による事故・災害の防止 <b>主な手段:</b>法令に基づいた防災上、安全確保並びに衛生環境保持を目的とする点検を実施する。 <b>目標:</b>法定点検の履行及び点検結果に基づいた指摘箇所の改善</p> <p>(2)防災面の強化及び安全性の向上 <b>主な手段:</b>避難訓練手引書等の見直し及び図書館各館の消防点検・避難訓練等を実施する。 <b>目標:</b>消防点検1回/年以上の履行、避難訓練又は消防に関する研修の1回/年以上の実施</p>	<p>(1)施設の老朽化が進み、利用者の安全面の確保は非常に注視すべき事項であることから、法定点検並びに定期点検による不良箇所等の早期発見による事故・災害の防止を目的とする。</p> <p>(2)図書館は常時、不特定多数の利用者がいることが想定されることより、非常時の体制及び防災機能は非常に重要であると考えられるため。</p>